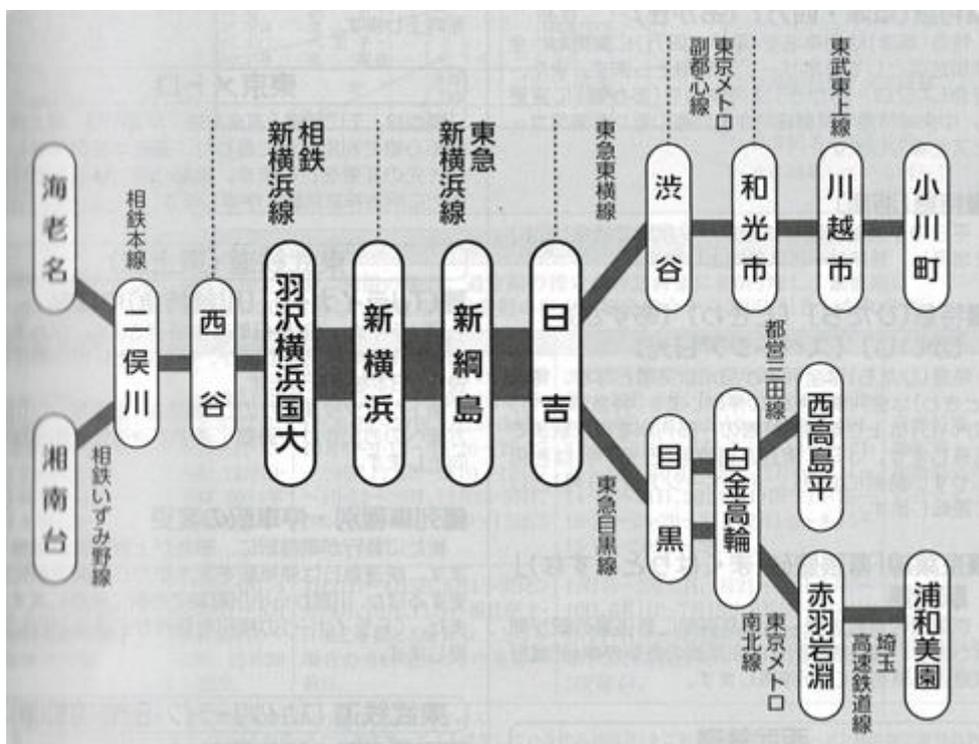


## 第7章 新横浜線

### 第1節 概要

2023年4月3日（月）晴れ、急遽思いつき、2023年3月18日（土）に開業した相鉄新横浜線（羽沢横浜国大～新横浜：営業キロ4.2km）と東急新横浜線（新横浜～新綱島～日吉：5.8km）に挑戦する。今、赤字路線問題で地方鉄道の廃線が騒がれている中、この路線を歩き終え、何か元気をもらったような気持ちにもなった。2023年3月12日（日）、BSフジで2時間にわたり、“甦れ！！岐路に立つローカル線”と題して放映があった。鉄道は採算問題で単純に解決されるものではない。地元の足、地方の連結、観光・文化の保持や発展などなど鉄道の使命は大きいと強く感じる番組であった。どうか永田町の先生方や地元自治体などが一丸となり、これ以上廃線にならないよう、また子々孫々に継承できるよう、大事な「津々浦々に続く日本の鉄道」の存続をお願いしたいものだ。同時に存続を強く発信したい心境から、“歩く鉄道作家”として日々鋭意努力し、日本の鉄道の素晴らしさや意義などを少しでも多く、カッシー館を通じて発信したいものだと夢膨らむ。



加えて、午後から、” 乗り鉄” と” 歩き鉄” の2面から、” 日本横断歩き鉄の旅” PDF 読本の第 50 編に予定している埼玉高速鉄道や多摩都市モノレールのリベンジ 50 回目にも挑戦する。お陰様で生まれて初めて自宅を一周する下記のような旅も楽しむことができた。自宅～小田急（南林間～大和）～相鉄（大和～羽沢横浜国大～新横浜）～東急（新横浜～日吉～目黒）～南北線（目黒～駒込～赤羽岩淵）～埼玉高速鉄道（赤羽岩淵～戸塚安行～浦和美園）～山手線（駒込～新宿）～中央線（新宿～立川）～多摩都市モノレール（上北台～立川北～多摩センター）～小田急（多摩センター～新百合ヶ丘～中央林間）～自宅。

歩き鉄での各駅舎到着時刻は次の通り。これで通算営業キロは **1万4千468km（活動日数713日、日本の鉄道の52.2%、地球円周の36.1%）** となる。

<新横浜線（営業キロ 10.0 km）>

羽沢横浜国大(8:57)～新横浜(10:26)～新綱島(11:33)～日吉(12:12)

相鉄新横浜線：羽沢横浜国大～新横浜（4.2 km）

東急新横浜線：新横浜～日吉（5.81m）

※新横浜線の登場により、新宿方面に加え、相模鉄道から東急線を経由し、西高島平や浦和美園方面にもアクセスができりようになった。

<多摩都市モノレール（営業キロ 5.7km）>

立飛(16:02)～高松(16:16)～立川北(16:36)～立川南(16:44)～柴崎体育館(16:58)～甲州街道(17:26)～万願寺(17:43)

## 第2節 新横浜線

相模鉄道範疇の羽沢横浜国大～新横浜も記載。





#### ※羽沢横浜国大駅

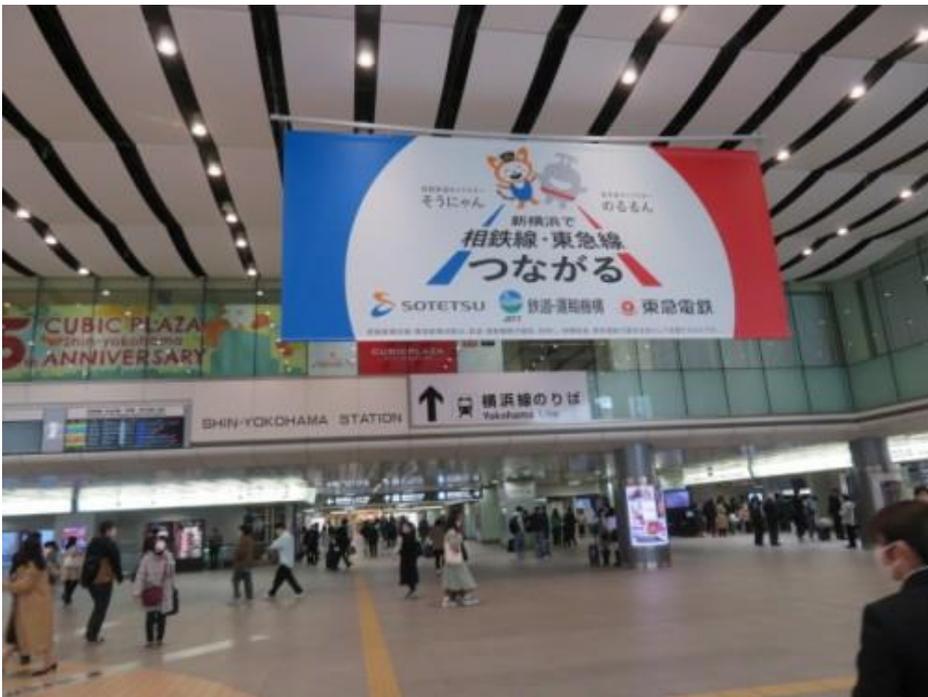
①羽沢横浜国大駅から新横浜駅までの相鉄線は東海道新幹線に沿った、桜が5分散りの国道13号線を歩く。9時21分、新幹線下を潜り、鉄道の左側となる。9時23分、八反橋を渡る。9時39分、横浜市神奈川区から港北区となる。横断歩道がない、複雑な構造になっている鳥山東歩道橋を9時46分渡り終える。その先に鳥山橋があった。更に、高架した橋があり、その橋を上る。10時2分、JR横浜線を跨ぐ。そして、鉄道に近づいた先にJR新横浜駅（10時8分）があった。新横浜駅構内を散策し、やっと相鉄新横浜駅と東急新横浜駅に10時26分到着する。新横浜駅はJR線の他に横浜地下鉄も合流しており、新横浜線の登場により、新横浜駅の利便性が更に高まった。



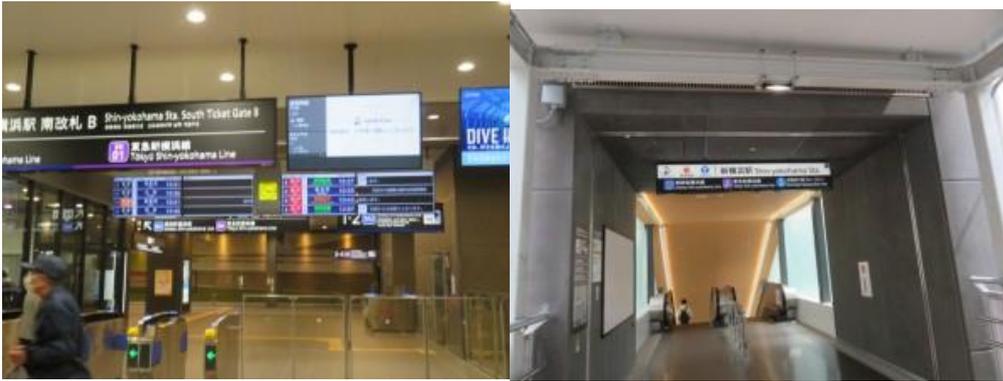
#### ※新横浜駅への路



※新幹線に沿って、港北区に入る、桜を背景にして、背後新横浜駅



※新横浜駅構内



※相鉄新横浜駅、東急新横浜駅



※JR 新横浜駅

②新綱島駅への道筋は、新大倉駅界限まで、新幹線の左側を歩く。本日は、ネットから検索した路線図を持参して臨んだため、迷うことなく歩くことができる。従って、お伺いする場面は、新横浜駅構内と新綱島駅の2回で済んだ。10時48分、新幹線下を潜り、鉄道の右側となる。ここから新幹線から大きく乖離する。10時50分、階段を上がり、幹線道路に合流する。10時56分、東横線を横切り、鉄道の右側となる。11時2分、大倉山交差点に到達。左手には東横線の大倉山駅があった。11時6分、熊野神社入口バス停前を通過。11時27分より、万歩計で314歩ある大綱橋（鶴見川）を渡る。この橋を渡ると、幹線道路の左手側に綱島駅、右手側に新綱島駅（11時33分）があった。駅周辺は忙しそうな工事現場があった。



※新綱島駅への路、新幹線潜る、大綱橋を渡ると新綱島駅



※新綱島駅

③新綱島駅周辺をデジカメに収める。暫く、駅前の道筋を50m位歩くが、これまでの第六巻から大きく外れているよう察知する。予想通り大きく乖離しつつあった。リカ

バリーに5分位要し、日吉方面に向かう国道2号線に合流する。11時43分、丸子橋6 km、日吉2 kmと記した道路標識前を通過。これまで何度も立ち寄ったことがある御馴染みの日吉駅には12時12分到着。駅前には慶応日吉キャンパスがあった。12時16分位のダイヤで埼玉高速鉄道がある赤羽岩淵駅に移動する。リベンジ50回目に続く！！



※日吉駅への路



※日吉駅



※慶応日吉キャンパス、赤羽岩淵駅に移動

### 第3節 多摩都市モノレール

範疇外のため割愛。